

壁面・石材から既に分離している漆喰の所在場所

漆喰の部位	分離した時期	現在の所在場所	備考
目地漆喰 (石材間の接着用)	石室解体時期 (平成19年4月 ～8月)	奈良文化財研究所 都城発掘調査部	発掘調査の際取り 上げられた資料 (コンテナ約90箱)
		(株)テクノスルガ・ラ ボ	生物調査 (※東京文化財研究 所との共同調査)
余白漆喰 (解体時に取り外し たもの)	石室解体準備 時期 (平成18年10 月) 石室解体時期 (平成19年4月 ～8月)	国宝高松塚古墳壁 画仮設修理施設	保存 (シャーレ約90個)
		奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	非接触調査 (4片)
余白漆喰 (破片及び粉末)	(平成14年1 月)	東京文化財研究所 保存修復科学センタ ー	科学分析
余白漆喰 (粉状)	発見直後?	奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	来歴は不詳
余白漆喰 (破片及び粉末)	発見直後	奈良教育大学 金原正明研究室	嶋倉巳三郎研究室 旧蔵資料 (小型プラケース2 個)
余白漆喰 (破片及び粉末)	発見直後	奈良県立橿原考古 学研究所	多数あり。他に、ガ ラス製丸玉・粟玉、 琥珀製丸玉、刀装 具、銀製金具、銅製 角釘、木棺の破片、 漆膜、金箔片、骨 片、土器片。

※ 平成21年2月10日時点

※ 過去の調査時に発見回収された資料があるが、これらの資料については現在、関係大学等に問い合わせ中である。



石室解体時における余白漆喰の取り外し準備(平成19年5月)



余白漆喰(例1)
(奈良文化財研究所)



余白漆喰(例2)
(奈良文化財研究所)